




発行：香川県中讃農業改良普及センター 〒765-0014 善通寺市生野本町一丁目1番12号  
TEL 0877(62)1022 FAX 0877(62)1553  
E-mail chusannokai@pref.kagawa.lg.jp

HPはこちらから 



中讃管内の  
新しい動き

## 女性農業者の活躍を様々な方面から 支援しています！



大型機械を巧みに操縦して米を収穫する三原典子さん（丸亀市）



認定新規就農者としてナスの栽培に励む山崎碧さん（善通寺市）

今、農業の重要な担い手として「女性農業者」に高い期待が寄せられています。中讃農業改良普及センターでは女性が農業に参画し、活躍できるよう様々な支援を行っています。

三原さん(写真左)は、家族経営協定を活用して農業後継者である長男と役割分担や経営移譲の時期を話し合い、連名で農業経営改善計画を作成し、共に認定農業者として生産活動に励まれています。

また、山崎さん(写真右)は、長年の夢であった農業経営を令和4年の秋に開始し、現在は一番の理解者である婚約者の協力を得て、ナスやナバナ、ニンニクを栽培されています。

中讃管内では、農作業の分担や労働環境などについてまだまだ十分な話し合いが進められていない中で、農業経営が行われている経営体がみうけられます。普及センターでは、そういった農業者に向けて家族間で話し合いの場を設けるよう声掛けを行っています。女性の農業経営への参画には経営主として農業生産に取り組むだけでなく、家族の農業経営をサポートすることも含まれます。

農業に従事する全ての皆様が、自己のスキルを生かして農業経営に参画できるよう、作業内容の分担などについてご家族で話し合ってみませんか？農業経営に参画している女性農業者の意見を聞きたい、家族経営協定について話を聞きたいという方は、中讃農業改良普及センターの担い手・農地マネジメント部門までご相談ください。

## 耕種農家と畜産農家をつなぐ「耕畜連携」の推進

### 1 生産拡大の取組み

令和3年度末に、管内の畜産農家から飼養頭数の増加に伴い粗飼料を安定的に確保したいが価格高騰や他国の買取強化により「輸入飼料の買い入れが非常に厳しい」との相談を受けていた中で、集落営農法人からは「米価低迷」が続き、水稻栽培の継続が難しいとの課題があげられていました。そこで、当普及センターでは、畜産農家と耕種農家をマッチングし、お互いの経営改善を目的にWCS用稲の試験導入を提案しました。

両者の合意が得られたため、令和4年度よりWCS用稲の専用品種を栽培する実証区を約2ヘクタール設置しました。同年3月より牛糞堆肥を10アール当たり3トン散布し土づくりを行い、播種から収穫、ラッピングしたロール輸送までの手順を確認することになりました。専用品種は「たちすずか」「つきすずか」の2品種とし、品種特性を確認しています。



図-1 汎用型の収穫作業

表-1 生育調査結果

区分	播種	移植	出穂日	収穫	収穫量(ロール数/10a)
たちすずか	3/27	5/6	8/28	9/6	12.4
つきすずか	5/1	5/26	8/29	9/6	11.1

※1ロール約330kg

令和4年産の実証区では安定した収量を確保できたため、令和5年度からWCS用稲の作付け拡大を開始しました。まんのう町内の担い手を中心に耕種農家へ説明会を行い、本格的な増産体制に入りました。また、令和5年度には、収穫作業を受託するコントラクター1社が設立され、まんのう町はもとより、近隣市町への収穫作業の拡大が可能となったため、綾川町や多度津町においてもWCS用稲の作付けにご協力いただける農業法人や集落営農法人が増えています。



図-2 ラッピング後のWCS

### 2 今後の飼料生産にむけて

今年、まんのう町内の牧場向けに生産されたWCS用稲は約77ヘクタール、ロール数で約6,200本になり、牛への給餌用飼料として活用されています。

普及センターでは、今後もWCS用稲の作付け拡大に向けた支援に取り組みますが、牛に給餌した場合、更に栄養価の高い青刈トウモロコシ（デントコーン）の作付け拡大についても推進していく計画としていますので、栽培方法等について興味のある方は、普及センター集落営農・農畜産部門までご連絡ください。

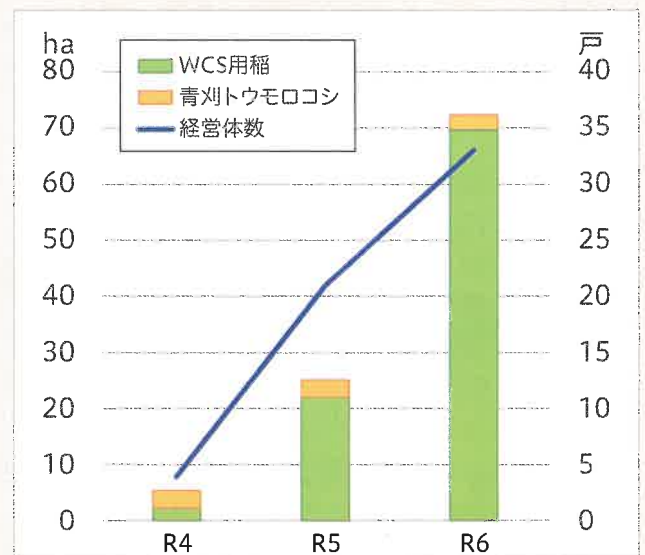
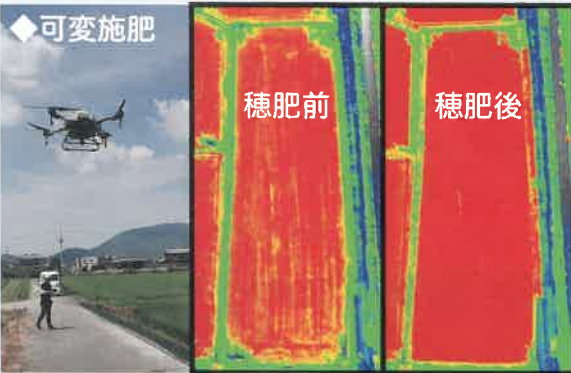


図-3 まんのう町向けの飼料生産状況

## 環境にやさしいグリーンな栽培体系への転換に向けて

中讃農業改良普及センターでは、新しい技術の導入による「環境にやさしい農業の実現」と「生産性の向上」を両立したグリーンな栽培体系への転換に向けた実証に取り組んでいます。

本年度はドローンセンシングによる穂肥診断に基づいた減肥や有色光による害虫の忌避効果を活用した化学農薬の使用量低減の検証を行いました。



ドローンのセンシング（上空から撮影した画像を解析）により、ほ場内で生育の順調な場所（赤色）、不良な場所（黄色）を正確に把握することができます。

その画像を参考に、穂肥を多く散布する場所、少なく散布する場所を決めながら、ドローンで穂肥を散布する「可変施肥技術」の実証試験に取り組みました。生育ムラがなくなり、品質の揃った「おいでまい」を安定的に生産できることが確認できました。



有機農業は化学肥料・農薬を原則使用しない農業であるため、様々な病害虫が発生し、収量・品質の低下が課題となります。ハスモンヨトウ対策として、これを忌避する黄色い光とほ場周辺の作物の生長に影響を与えない緑色の光を掛け合わせた緑色防蛾灯を用いることで、害虫の生息密度を低下させ、防除作業の省力化と正品率の向上を目指した実証試験を行い、それらの効果を確認することができました。また、市販のポータブル電源を使用することで問題なく防蛾灯が稼働することが確認されました。



アスパラガスの栽培においてはハスモンヨトウやシロイチモジヨトウなどが侵入しやすく、食害が問題となっています。

そこで、これらの害虫が黄色い光を嫌がる性質を利用した黄色防蛾灯を活用することで、害虫を寄せ付けないようにして、防除回数を減らす検証を行いました。

結果、防蛾灯を設置しているほ場では害虫の侵入を阻止することができ、被害が大幅に減少しました。



キクの主要な害虫であるアザミウマ類は、農薬に対する抵抗性が発達し、薬剤のみでの防除は困難となっています。

今回、葉に赤色光が当たるとアザミウマ類が定着しにくい性質を利用して赤色防虫灯を導入し、農薬使用量の低減を目標に実証試験に取り組みました。

アザミウマ類が活動する日中に点灯した結果、施設栽培においては高い効果が確認できました。

## ～麴・味噌加工マニュアルづくりに取り組んでいます!～



あんもち雑煮

お雑煮や味噌汁、味噌漬け、味噌煮、ゆず味噌、味噌和え等々、味噌は調味料として日常的に使われている日本の伝統的な食品の一つです。

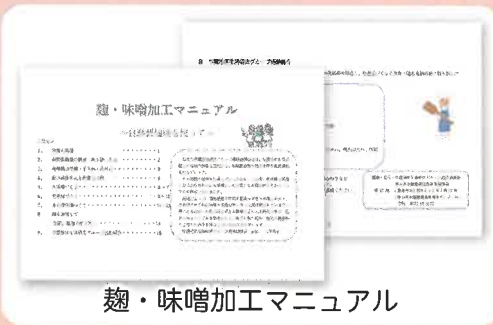
味噌の作り方を学んでみませんか？

中讃地区生活研究グループ連絡協議会では、食と農を通じた次世代への伝承活動に取り組んでいます。

本年度は、中讃地区で取組みが盛んな「味噌作り」に注目して、「麴・味噌加工マニュアル」を作成しました。

麴や味噌の種類・作り方だけでなく、麴の活用方法や作る際のポイントなどもまとめています。中讃農業改良普及センターホームページに掲載していますので、ぜひご活用ください。

また、中讃地区生活研究グループ連絡協議会の活動に興味をお持ちになられた方は事務局(中讃農業改良普及センター内)までご連絡ください！お近くの生活研究グループの活動をご紹介します！



麴・味噌加工マニュアル



米麴を作る様子

原料	色合い	味	発酵の特色	熟成期間
赤味噌	赤	甘味強	塩が濃く甘味強い	10日～1ヵ月
白味噌	白	甘味弱	塩味が濃く甘味は弱い	6ヵ月～1年
黄味噌	黄	甘味強	黄味が濃く甘味は強い	6ヵ月～1年
黒味噌	黒	甘味弱	甘味が濃く甘味は強い	1年

味噌の基礎

## 環境にやさしい農業の取組みが「みどり認定」されました

令和6年10月16日(水)に県庁本館21階特別会議室において、第3回「香川県環境負荷低減事業活動実施計画」認定証(みどり認定)の授与式が開催されました。

中讃管内からは6経営体が認定され知事から認定証が授与されました。おめでとうございます。



第3回 認定証授与式の様子

氏名	市町名	品目
堂崎 敦志	丸亀市	スイートコーン、ブロッコリー、カリフラワー等
株式会社尾野農園 代表取締役 尾野 弘季	善通寺市	青ねぎ
株式会社 KAWASOME ファーム 代表取締役 川染 允利	綾川町	水稻
中田 理恵	琴平町	キャベツ、リーフレタス、タマネギ等
合田 正夫	まんのう町	油用ヒマワリ
逢坂農園 逢坂 勝	まんのう町	ニンジン、ダイコン、ピーマン等

※順不同で、敬称は省略させていただきます。  
「みどり認定」された農業者は、国庫補助金の採択で優遇されるなど、様々な優遇措置を利用できます。

## 多様な農業人材経営計画認定制度について

中讃農業改良普及センターでは、農業者が創意工夫により経営発展を目指す兼業農家や定年帰農者等が作成する経営計画を認定し、認定を受けた認定農業人材に対し支援を行っています。

お近くに認定を希望される方がいらっしゃいましたら、お声かけくださいますようお願いをお願いします。

多様な農業人材認定制度の詳細は、右側のQRコードからアクセスいただけますと確認できます。

